

因伯兔

いんぱくと

発行月：2022年 5月

厚生労働省指定臨床研修病院

鳥取生協病院

鳥取医療生活協同組合

ホームページ



発行元：鳥取県民主医療機関連合会
☎0857-29-3598 ✉tottori@min-iren.gr.jp

鳥取市に署名

「国保料を下げて！」

鳥取市に署名971筆を届けました。

「鳥取市の国保料の引き下げを求める署名」は、短期間で971筆、他の団体が取り組んだものと合わせて3166筆集まりました。

鳥取民医連が年末に行った食料無料市の利用者からも、「国保の支払いに困っている」という声があったことを、市の福祉部長に伝えました。



感染症対策の最前線で

日本海新聞に掲載

感染症対策の最前線でそれぞれの業務に従事する医療や介護分野の専門職。公私で続く緊張感や業務量の増大にもかかわらず、誠実で温かい対応を続ける現場の人々の紹介です。

米子医療生協の訪問看護ステーション「なないろ」の伊中所長は、「地域の人々の不安を取り除くのが自分達の役目」と、訪問看護もコロナ対応も全力で取り組んでいます。

鳥取生協病院 理学療法士 吉多さん。「コロナ対応に注力しながらの2年間。家族らの面会中止や全国的な移動制限は、患者らの入院中や退院後の目標設定の上で大きな壁になったが、同僚や上司と工夫して取り組んだアプローチはよい学びももたらしてくれたと今は思える」と語っています。

感謝のフラワーブーケ

新型コロナウイルス感染症の流行とその感染対策によって、職員間のコミュニケーションは不足しがちになり、個人または職場単位で、孤立感や疎外感を感じているのではないかという思いで、*HPH推進委員会が他職場への感謝の言葉を募集しました。22職場から380枚の温かいメッセージが寄せられました。寄せられたメッセージはフラワーブーケ風にデコレーションして、職員通用口に掲示しています。

*HPH…Health Promoting Hospitals & Health Services (健康増進活動拠点病院及び事業所の略)

鳥取生協病院は2019年5月に世界保健機構 (WHO) 内の世界HPHネットワークに加盟しました。



応援メッセージ

鳥取市内の小学校より職員向けの応援メッセージがたくさん届きました。

「コロナで大変だけど頑張ってください！」などのメッセージに、看護師を含め、みんなが感動で涙でした。職員用通用口と職員用ロッカー室に掲示し、毎日この励みで元気もらっています。



食料無料市 第2弾

年末に引き続き、3月26日に2度目の食料無料市を鳥取市の公営住宅2か所を拠点に行いました。

「年金暮らしで生活が大変」、「コロナで出勤日数が減って収入が激減した」、「年金の額が少ないため冷暖房もつせず、外出もせず、病院には10年間行ってない」という高齢者もおられ、食料を受け取りに来る合間に生活相談になる場面もありました。自宅への「お届け隊」からは、「気になる方がいる」と報告があり、看護職が訪問する場面もありました。

事前準備や当日のボランティアは50人越が参加しました。事前準備含め、医系学生4名(医学生・薬学生・看護学生)、高校がボランティアに駆けつけてくれました。学生からは「コロナもあって、地域での活動は初めて。貴重な体験だった。」「機会があればまた参加したい」と、積極的な感想を語ってくれました。

200人分の物資を準備するにあたって、緩和ケア病棟で栽培している大根、鳥取県生活協同組合から生鮮食品品、JAの産地直売所から野菜の提供がありました。

団地の自治会長さんからは「大事な活動、継続して別の地域でもぜひ」との声をいただきました。

今後も継続して活動を行っていきます。次回開催時もボランティアを募集しますので、医学生のみなさんもぜひご参加下さい。

